

小山市における インバウンド促進海外販路開拓・拡大のための取り組み



地域名 : 小山市
パートナー名 : 小山市教育委員会生涯学習課生涯学習係

14班 コミュニティデザイン学 浦澤冬馬 鈴木乃愛
建築都市デザイン学科 小島由夏子 鈴木夏望
社会基盤デザイン学科 関沢智幸 松田拓也
グループ指導教員 鈴木富之

背景

小山市のキャッチコピー「小さな自慢が山ほどあります」とのように小山市は小さな魅力が山ほどある。しかし**目玉的観光資源の不足**から日光や足利、宇都宮といった**県内他地域と比較して知名度が低い**。そのため、インバウンドの促進や海外販路を開拓・拡大には、まず、**小山市の存在を知ってもらう**必要がある。

目的

現時点の知名度では県内他地域と同じPRで認知されることは難しい。そこで**切り口や視点を変えて観光資源や産業製品をPR**していく必要があると考えた。私たちは、有名なものから興味を持ってもらうのではなく、**共感を糸口**に**小山市に興味を持ってもらう**ことを目標に、**生産者や外国人観光客の想いに注目したパンフレット**を作成することを調査の目的とした。

作成にあたっては「どのような情報をどのように載せるか」が課題であった。外国人観光客が少ない現状から、どのような要素が外国人観光客にとって効果的なのか不明だったためだ。魅力的なパンフレット作成には、外国人観光客の目線で興味を引く「情報」や「伝え方」を調査する必要があると考えた。

方法

1. 小山市にある酒造、伝統工芸品、道の駅の訪問
→外国人観光客が集まる場所、消費行動の把握
→生産者の想いを理解
2. 小山市を訪問した外国人へのインタビュー
(小山市姉妹・友好都市であるケアンズ市、紹興市関係者)
→外国人観光客が求める情報、ニーズの把握
3. インバウンド事業者へのインタビュー
(Japan World Link 株式会社、いちごの里)
→外国人観光客の観光動向調査

分析結果

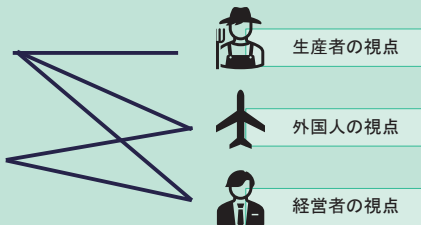
1. 目的の設定と調査対象について

調査の目的: (a)パンフレットに掲載すべき情報の選択と効果的な発信方法
(b)体験に焦点を当てる際の具体的な外国人のニーズ

方法で言及した3つの対象を以下の3つに分け聞き取り調査を行った。尚生産者には商品について詳細な聞き取りを行った。以下は目的と聞き取りを行った対象の関係である。

掲載すべき情報
発信方法

具体的な
体験需要



2. 調査結果

2-1. パンフレットに掲載すべき情報の選択と効果的な発信方法について



- 生産者**
- 手間をかけることを惜しまず生産している
 - 製品を手取ることや、使用・試飲してもらう
 - 小山市の気候や特産物との関係が深い



- 外国人**
- 場所の説明は文章<図、写真
 - その場所に向かうまでの交通手段の明示
 - 観光のテーマ性や季節ごとのイベントの明示



- 経営者**
- パンフレットを近場の他に主要な場所に置く
 - 訪日旅行前や桜開花前など適切なタイミングに宣伝

分析結果

2-2. 体験に焦点を当てる際の具体的な外国人の需要について



外国人の視点

- 観光のテーマ性や季節ごとのイベントの需要(豪)
- 日本文化を体験できる機会の需要(豪)
- 自然体験(中)
- 農業体験や収穫したものを食べる体験需要(中)



経営者の視点

- 体験を紹介する際、体験にストーリー性を持たせる
- 近隣の市では出来ない体験を強調する

3. まとめ

- 各施設の他に目的地までの交通情報が必要
- 人々の多様な要望を満たすため、様々な選択肢を提供する必要がある
- 近隣の市では体験できない良さを強調する事で付加価値を創出する
- 各視点からの意見をを反映した成果物に繋げる

提案

小山市の魅力を広く外国人に伝えることを目標に、調査と分析を基に生産者の想いや自然、アクセスなどをまとめたパンフレットを作成した。しかし、対外知名度が低いため、魅力を伝えるにはパンフレットを見てもらう工夫が必要である。そのため、以下の2つの提案を行う。

1. インターネット媒体での提供:

外国人観光客の情報入手手段がスマートフォン主流であることを踏まえ、インターネット上で閲覧可能な資料を整備し、スマートフォンでもアクセスできるようにする。

また、以下の2つの方法により効果の検証やフィードバックをもらい効果を高める手段を検討する。

- ①既存の小山市の外国人向けサイトや同プロジェクトで作成されたウェブサイトの実験的に掲載
- ②インタビューに協力していただいた海外の方々(ケアンズ市関係者等)にデータを送り、現地でのパンフレット設置の協力を依頼

2. 県内他地域の観光地、鉄道駅に設置

有力な観光地である日光市等の鉄道駅にパンフレットを設置し、多くの人の目に触れる機会を作る。これにより小山市に直接訪れない場合でも情報が拡散され、将来の選択肢としての認知を高めることが期待できると考える。

<完成したパンフレット>

